

機会均等の国 アメリカ

アメリカは機会均等の国と呼ばれている。

オバマ米国大統領は米国建国以来、はじめての黒人大統領で、父親はケニア出身の留学生。母親は米国女性で混血児の彼はハワイで生まれる。幼少の頃、父親は真っ黒で、反対に母親が真白な肌をしていることに違和感を覚えたた、言っている。今は、黒人を父に持つオバマでも大統領になれるのが米国。正に実力さえあれば活躍できるということを証明している。



ダルビッシュ投手は2012年、米国メジャーリーグ最高契約金6000万ドルでテキサスレンジャーズに入団した時の人。彼の国籍は日本だ。ダルビッシュはイラン人の元サッカー選手だった父親と日本人を母としてこの世に生を受けてきた。米国と敵対しているイラン。そのイラン人の父親と日本女性の間に生まれ、日本で育ったダルビッシュが、投手としての実力が認められ、米国大リーグ史上最高金額でスカウトされるのがアメリカなのだ。



Steve Jobs
1955-2011



2011年に死去した伝説の人、アップルの創始者ジョブズの父親はシリア人。彼はシリア留学生で政治学者の父とアメリカ人の母親の間に生まれている。

1955年、シリア人の政治学者、アブドゥルファター・ジャンダリとアメリカ人の大学院生ジョアン・シンプソンの間に生まれた。ジョアンの父が、シリア人であるアブドゥルファターとの結婚を認めなかったため、誕生以前から、養子に出すことに決められていた。結果、スティーブはポール・ジョブズ、クラリス・ジョブズ夫婦に引き取られることになった。ジョアン・シンプソンは、ジョブズ夫婦が大学卒でないことを知り、養子縁組を躊躇したが、ジョブズ夫婦が彼を大学に進学させることを約束して、縁組が成立した。ジョブズが、実の母と再会するのは、彼が30歳を過ぎた頃である。